

Product for clients

Career Power Life & Information Plaza

Powered By CareerPower

株式会社 キャリアパワー

Vol. 84  
2019.10 Autumn

# これからの日本にキャリアコンサルタントはなくてはならない存在に



東京都市大学  
学生支援部  
部長

住田 暁弘様

## 【プロフィール】

住田暁弘(すみだ・あきひろ)  
東京都市大学 学生支援部 部長  
大手情報企業に新卒で入社。人事・総務業務を経験した後、進学情報、就職情報、キャリアカウンセラー養成、再就職支援事業などのゼネラルマネジャー職を歴任。約20年勤務したのちキャリア・人材コンサルタント業の起業と共に、キャリア教育・教育機関へのコンサルティングを行う企業の役員を経て2011年東京都市大学に入職。国家資格2級キャリアコンサルティング技能士、産業カウンセラー、米国CCE, Inc認定GCDF-Japanキャリアカウンセラーの資格を保有。日本キャリアデザイン学会、初年次教育学会正会員。学外で多数のキャリア・就職、学生支援関連組織の委員や幹事・役員なども務める。

Top Interview 巻頭インタビュー

今回は東京都市大学 学生支援部の部長住田 暁弘様にインタビューをさせていただきました。大学生の就職活動の現状やキャリア教育、人に寄り添い支援するキャリアコンサルタントやキャリア支援を行う部署のことなどについて多岐にわたりお話をしていただきました。

## 昨今の学生の就職環境と問題点

**現** 在の大学における就職事情ですが、新卒求人倍率や就職率などの数値を見ると、売り手市場で学生にとっては比較的就職しやすい環境になっています。ただ、人気の高い企業群や特定の職種では依然採用の基準は高く、学生にとって厳選採用となっています。

また、今まで大学と経済団体が話し合いのうえで新卒の就職採用の時期を決めていましたが、今年の経済団体のトップの発言をきっかけに、企業も学生も活動の時期が明確には定まり難い状態になってしまいました。今年度も政府から企業に対して今まで同様3月採用情報の公開、6月採用選考の開始の要請をしていますが、経済団体からはそれに対して明確な反応がされていないのが現状です。

最近の企業は余裕がなくなっているためか、多くの日本の学生達に成長する機会を持たせるより、自社に優秀な学生を確保したいとの意識を前面に出し、他社に先駆けた早期からの採用につながる活動を重視してしまっているように感じています。学生は企業の動きにつられて就職に直接つながる活動に時間を費やし、本来時間をかけるべき大学の授業やクラブ活動、成長できる長期のインターンシップや留学などに落ち着いて取り組むことができなくなっていることは大きな問題だと考えています。早々に就職先が決まる学生はまだ大きな問題にはなりにくいのですが、なかなか就職先が決まらない学生にとっては、このままでは3年生になった直後から4年生の秋から冬頃までずっと就職活動を続けることになります。その結果、その学生は自信もなくなっていく、社会で活躍するチャンスも少なくなってしまう。我々は学生の能力

を伸ばせる時期をしっかりと確保できるように対策を考え、通常の学生生活を経て段々と成長していく多くの学生を守っていく使命があると思っています。

## キャリア支援センターの役割とこれから

学生は就職活動をする際にさまざまな就職活動をビジネスにする会社が開催するイベントや提供する情報を利用することもあると思います。ただそれらの情報は就職活動をする数十万人の学生に対する情報であるのに対し、各大学のキャリア支援センターは、その大学の学生を特に採用したいという企業からの求人や、学生に合った情報を収集し提供しています。学生たちにとってより適切で濃い情報を提供できるキャリア支援センターは、学生ならびに良い関係を作れている企業に対して大きな価値を提供していると自信をもって言うことができます。

少し歴史を振り返ると就職を支援する組織として以前の各大学は「就職課」を設置していました。今は多くが「キャリア(支援)センター」へと変わってきています。これは大きな変化ポイントだと思っています。昔は就職を決定させるために、3年生頃から履歴書の書き方や面接の対策、企業情報の提供や企業とのマッチングイベントなどを行うのが就職課の役割でした。キャリア支援センターは、低学年の学生に対するキャリアの授業やガイダンスの企画・運営、また個別のキャリア相談も受けています。これはある程度出来上がった学生を企業に繋げるだけの機能ではなく、入学直後から学生が社会に出てから活躍するための能力を高めることにつながる学びの機会を強く意識したのになります。例えば学びの効果の高い活動についての情

報提供をしたり、インターンシップやPBL講座、ビジネスコンテストなどキャリア形成や能力開発にとって良い機会を提供することもキャリア支援センターの役割になっています。また、キャリア教育は、就職を決定させるためのものではなく、学びのモチベーションを高めさせることが目的だと考えています。

私は学生やキャリア支援に携わる方に対して、人生100年時代と言われはじめ、テクノロジーの進化による産業の新陳代謝やそれに伴う労働市場の変化により、若年世代の多くが画一的なキャリア形成だけでは一生を満足して終えることが難しくなると伝えています。そのような環境下、学生達に今のうちにできるだけ身に付けて欲しいキャリア開発のフレームを以下のようにあらわしています。

## インターンシップの有益性

今、キャリアや就職に携わる人の中でインターンシップが大きく注目されています。日本のインターンシップには、単なる就職採用活動を目的としたものと、教育的効果の高いインターンシップがあります。前者は企業側が主体となり、主に就職活動をビジネスにする会社が関わって行うものです。私はこのインターンシップは本来のものではないと思っています。本来のインターンシップは、国内、海外どちらのインターンシップにおいても学生自身が成長し、学びへのモチベーションを高めていくことができるものだと考えます。

私は日本学生支援機構(JASSO)のキャリア教育の協力者にも指名され、「インターンシップ専門人材」の養成などにも関わっています。この夏も日本全国から二百数十名のキャリア開発に携わる教

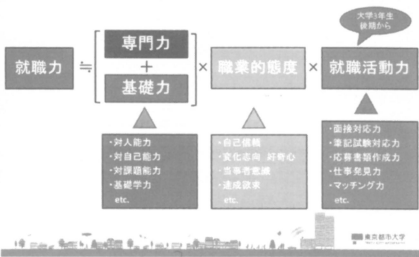
キャリア開発のフレーム



これは、まず「自分を磨く」で①自分の能力を客観的に伝えられるようにエビデンスに基づいて整理する(客観的側面) ②変化する社会を認識し将来どのように関わりたいか考える(主観的側面)、ただ主観的な側面をイメージするためには「社会を知る」が必要になります。次に主観的な側面がイメージできると、その関わりを実現するためどのように能力を高めていか計画し、実際に主体的に行動し、能力を磨き高めることが必要になります。これが「自分を磨く」です。自分の能力が高まると最初の「自分を知る」に戻り、エビデンスをベースにして客観的に伝えられるように整理するというものです。小さなステップからでもこのサイクルを何度も回し、習慣化できると、社会に出てからも「ありがたい自分」、「求められる人材」でいられる可能性が高まると考えます。

もう一つ、低学年の学生には以下の式を使って就職力を高めることについて説明をしています。

就職力を高めるための式



これは、就職を決める力を高めるためには、多くの方が面接や筆記試験対策、求人を探すことを早く始めればよいと考えるようですが、これらにあたる「就職活動力」は3年生の後半からで間に合います。それより低学年では授業や課外活動、良い経験になる学外の活動など学生生活を充実させて「基礎力」や、「職業的態度」の力を高めることが大切です。図の式が示すようにそれぞれの要素を掛け算で表現しておりますので、どれかがゼロですと積はゼロになりますし、逆にそれぞれの要素が高まっているとより積み重なって大きくなっていきます。これらの式を共有しながら「学生たちが自分を磨くどんな機会が作れるのか?」「基礎力を高めていくためにはどのようなものやっつけていけばいいか?」を大学全体としていかに供給していくかをキャリアセンターが主体的に取り組み、可能な限り発信するよう取り組んでいます。

職員が集まる二日間の研修プログラムの機会を持ちました。その方々に対して教育的効果の高いインターンシップについての知識の伝達や、自大学でのプログラム開発のきっかけになるワークの進行をさせて頂きました。この研修会参加者にはJASSOが認定する修了証も発行しており、現在はこのインターンシップ専門人材を普及させる活動もあわせておこなっております。関心がある方はホームページなどご確認くださいか私にお問合せください。

キャリアコンサルタントの資格保有者の能力開発

以前所属した会社での経験になりますが、当時アメリカの協会からキャリアコンサルタントを養成するプログラムのライセンスを取得し、本格的なキャリアコンサルタントを日本に根付かせる事業に責任者として携わっていました。その関係もあり、今でもキャリアコンサルタントの能力開発や社会でのキャリアコンサルタントが活躍する場の創造には高い関心があります。これからキャリアコンサルタントの資格をもっている方の役割は前述の学生向けのキャリア開発や就職の支援の現場はもちろんですが、さらに様々なシーンで大きくなっていくと思っています。キャリアコンサルタントの職場としては、大学のキャリア支援センターの他に、人材会社でのコーディネーター、ハローワークや、再就職支援企業、また一般の企業の人材開発の担当などもあります。大学でお仕事をされている方にはイメージしづらいかもしれませんが、今後は社会人に向けた支援も一度経験されるとキャリアコンサルタントとしての能力が大きく伸びると思います。ひとつ再就職支援事業での相談業務の例をご紹介します。再就職支援事業とは事業の環境変化により長年勤めた企業を去らなければならなくなった方に対して次の就職先を決める支援をする仕事です。対象者の多くは40歳を過ぎた方々です。ひとつの会社ですと働き続け転職をしたことがない方は、自分のチカラの棚卸しをしたことなく、何をやりたいかと問われても答えられず、数十年一生懸命働いてきた会社をいきなり去らなければならなくなる喪失感や無力感を抱えていらっ

しやる方が多いのです。再就職支援のキャリアコンサルタントはカウンセリングの能力をフルに活用して寄り添いながら、相談者の本音を聴き、トランスファラブルスキルの整理を一緒に行い、時に認知の修正を行いつつ、今までとは違う環境の職場とマッチングさせることが求められます。当然ですが、ただ単にキャリアコンサルタント自身の経験だけできるものではないのです。キャリアやカウンセリングの理論や深いケース事例など、学生に対する就職のアドバイスや指導で相談業務ができるのとは違った技量が必要になります。

これからの労働市場は、AIやIoT、またグローバル化の影響で今までの仕事がどんどん変化していく時代に突入します。そうすると今まで以上に人材の流動性は高まるはずで、その時に、人材をどこにどう最適にマッチさせていくか、リカレント教育の視点など人材の能力開発を適切にアドバイスできるかがキャリアコンサルタントの腕の見せ所となると考えています。キャリアコンサルタントが良く機能すると、救われる方も増え、日本の活性化にもつながっていくと思います。キャリアコンサルタントがいかにプロフェッショナルとして更に自分自身の能力を高めていけるかが大切になってくると思っています。

あとキャリアコンサルタントが成長するには、スーパーバイザーのスーパービジョンを受けることも重要だと思います。本学でもキャリア支援センターには10名以上のキャリアコンサルタントの国家資格保有者が勤務しており、難易度の高い相談ケースの共有、キャリアカウンセリングのフレームのレクチャー、ロールプレイのトレーニングや理論を整理する論述のアドバイスなども行っています。さらにキャリアコンサルタントの資格には、上位の資格としてキャリアコンサルティング技能士という資格があり、これを目指す方には取得できるようにトレーニングのサポートもおこなっています。それぞれが自らの力を高める意識と行動は、学生に対してもよい価値を提供できることだと思いますし、将来も日本にとっても必要な人材になっていただけたらと思います。私はキャリアに携わることがお互いがポジティブに刺激し合い、高め合える職場にしていきたいと思っています。

これからの大学へのキャリアコンサルタントの価値提供について

大学の主な価値の提供は「教育」と「研究」だと思います。特定の大学を除き、重要なステイクホルダーである学生に対する価値提供は「教育」だと思います。よって大学にとって「教育プログラムをどう作っていくか」はとても大切になります。これからの大学で意識する必要性が高まるキーワードに、IR (Institutional Research)とエンロールメントマネジメントがあると私は考えています。大学のIRとは大学の経営改善や学生支援、教育の質の向上のため、学内データを収集・分析し、改善施策を立案、施策の実行・検証を行うといった活動を指します。またエンロールメントマネジメントとは一人の学生が大学に興味を持った時点から「志願-合格-入学-在学-卒業-卒業後」のように校友会員になってからも大学が一貫してサポートし、関わり、学びをサポートしていくという考え方です。キャリアの理論ではよく「キャリア」を「生き方」と表現しますが、キャリアの部署に属するキャリアコンサルタントはこのエンロールメントマネジメントを進める役割に親和性が高いことは皆さんもご理解いただけることだと思います。本学でも入学前ガイダンスから卒業までの学生へのサポートは既に行っていて、それを本学独自に開発した「TCU-FORCE (For Career Enrollment)」と名付けた学生の自己理解と成長、主体的な学びを支援するeポートフォリオを全学科で運用を開始しています。これは学位の情報や課外活動、インターンシップやボランティア活動、取得した資格などの「定性情報」に加え、「リテラシー基礎力」「コンピテンシー基礎力」「語学力」「専門実践力」など社会に出て必要な6項目の「定量情報」をレーダーチャートで表示し、各能力を分かりやすく「可視化」することができるものです。また、卒業してからも大学がサポートしていくことにもチャレンジしていく一歩目を取組みは始めているところです。具体的には、OB会組織である校友会に属する卒業生が大学とつながる「校友オンライン」というシステムを数年前にカットオーバーしました。また卒業したあとにもキャリアに悩んだらキャリア支援を受けら

れる仕組みの設計をOBと連携して作りだしはじめています。この活動は大学が取組むリカレント教育にもつながると考えています。めまぐるしく変わる世の中に対応するために、個人のキャリア開発において学び直しが必要になることが頻繁に起こると思います。そんなときに大学が社会人に対して再度学ぶ教育プログラムを提供することが一層求められます。学生時代から卒業後もキャリア支

援の観点で大学とつながり続けるシステムができれば、卒業生を中心とした方々に対して有益なサービスを提供することができるようになるとも考えています。私は現在、学生支援部の学生支援センター、キャリア支援センター、校友・後援会連携室をまとめる立場で、校友会と連携して現役学生に対して効果的なキャリア開発プログラムの提供には既に取り組んでいますので。これをベースに

して「キャリア支援生涯保証」とか「キャリア支援生涯サポート」と称して、OBの方のお力をお借りして進めていきたいと考えています。

大学関係者に限らず私の考えに関心を持っていただける方がいらっしゃいましたら今後意見の交換などさせていただけますと幸いです。よろしくお願いたします。

スタッフインタビュー

## ■ Interview

### -「仕事」とは、自分ひとりでは気づけない新たな可能性を引き出してくれる存在-

伝統ある京都市内の私立美術大学にて、学長秘書のお仕事をされている竹原知子さんにお話を伺いました。派遣先からも高い評価をいただいている竹原さん。今回はキャリアパワーへの登録のきっかけから現在のお仕事、趣味や休日の過ごし方についてまで多岐にわたって語っていただいております。



京都府京都市 私立大学勤務  
竹原 知子様

#### 今までの「経歴」と「語学力」を活かして、ずっと憧れだった「秘書」のお仕事にチャレンジ!!

**ま**ずキャリアパワーさんと出会ったきっかけですが、昨年末まで海外で生活をしていましたが、家族の仕事の都合で京都に戻ってきました。学生時代を過ごした京都で働きたいと思い仕事を探していたところ、キャリアパワーさんの求人を見つけて登録しました。

色々ある案件のなかから、今回勤務している私立大学の学長秘書の仕事を選んだ理由は、以前から秘書に興味があり、ずっと憧れていたことに加え、学長が海外(アフリカ)ご出身の方なので、海外とのやりとりがあり、語学も活かせるのではないかと思い応募しました。また秘書の仕事に関しては前々から興味をもっており、以前、勤めていた会社で、社長や役員と仕事をするプロジェクトに参加する機会があり、その際に秘書の方が社長や役員のスケジュールや業務を管理し、きびきびと働いている姿が「かっこいい!」と思い、「どういった仕事なのか?」と関心をもちました。

#### お客様や、上司、職場内まで、関わるすべての人とのつながりを大切にすることで、ミスなくスピード感のある仕事につながります。

仕事をするうえで、会社への貢献や社会貢献、自己実現はもちろん大切にしています。いろんな仕事をしていると、いつもやっている業務以外に突然予想もしなかった事がおこり対処求められる場面に遭遇することも多々あります。そんな場面でチャレンジをし、その仕事をやり遂げられたときに、「自分にはこういうことができたんだ!!」という、自分では知りえることができなかった可能性に気づかせてくれるのが仕事だと思います。また、お客様との連携だけではなく、一緒にお仕事をする上長や職場の人とのつながりを大事にしています。周囲とのつながりを円滑にする事によって雰囲気もよくなり、自分自身も仕事をしていて楽しいと感じます。何か困ったことがあったときに「どうすればいいですか?」とすぐ聞けるような環境を作ることも、スピーディーかつ正確に仕事をする事につながるので、周囲との人間関係や連携、コミュニケーションを大切にしています。派遣でお仕事をはじめるにあたり、学内のことがまったくわからない状況なので、周りの方には絶対に助けていただかないといけない局面が数々ありますので、仕事の質をあげるために周りの方への気配りやコミュニケーションをとらせていただくことを大切にしております。

#### 休日は、京都市内の観光名所めぐりで京都のよさを改めて実感。毎日の夕飯を作りが、気持ちをリフレッシュさせる時間です。

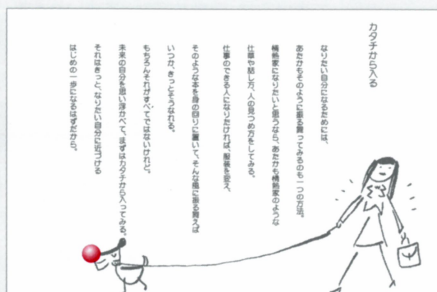
そして仕事の密度をあげる為には、やっぱり気分転換する時間も大事かと思えます。私は、お料理が好きで、仕事がある日もなるべく自分で作るようにしています。夫が外国人だということもあり、日本食も作りますが、海外のシェフの動画を見ながら、日本では普段食べない料理を「こういう風に作ればいいんだ!」「こうしたらどんな味になるかな?」と考えながら作る時間がすごく気分転換になっています。また、休日は、京都の観光名所めぐりを楽しんでいます。学生時代まで京都に住んでいたのですが、京都市内ではなかったため、観光名所に行ったことがなかったんです。今は、普段の生活の範囲内に神社やお寺があるので夫と散歩途中に訪れています。この夏は、両親や親戚と一緒に大文字焼きにも行きました。

#### 最初は、立場も異なるので職場でひとりぼつとならないか不安でした。担当さんの手厚いサポートで、安心して働ける環境です!!

最後になりましたが、今回キャリアパワーさんから派遣社員として働くにあたり、最初は周りの方と立場も異なるので職場でひとりぼつと座っているイメージでしたが、担当さんが職場の方と密にコミュニケーションをとってくださり、働きやすい環境を整えてくださるので、本当にありがたいなと思っております。また、困ったことがあれば、担当さんへ連絡すればすぐに回答していただけるなど、手厚いフォローがあるので、安心して働くことができっております!!

## ■ Information

### ● ご存知ですか? キャリアパワーのあかいドロップ



「This We Believe...」わたしたちキャリアパワーの信じるどころ。その想いから生まれた小さな冊子が「キャリアパワーのあかいドロップ」です。出会うことができたすべてのスタッフの皆様の心に、私たちの想いをお伝えしたい。そして、一人でも多くの方の心に、その想いを留めてほしい。ずっと変わらぬ想いでお届けしています。ぜひご愛読ください。

ご希望の方に配布中です くわしくはスタッフ企画室まで!

TEL 0120-288-450 Email info@careerpower.co.jp

## ■ Information

図書館総合展のご案内

### 第21回図書館総合展のご案内



第21回図書館総合展に出展いたします。図書館総合展とは、図書館業界最大のイベントで、全国の大学・高校・公共・民間の図書館関係者が来場されます。今年も会場内に「企業ブース」を出展し、弊社主催の「フォーラム」を開催いたします。ぜひ会場に足をお運びください。

#### ■第21回図書館総合展■

○日程：2019年11月12日(火)～14日(木)

○会場：パシフィコ横浜 展示ホール/アネックスホール他

#### 「フォーラム開催概要」 「これからの大学教育の価値とは ～総合学園の観点からみる、大学教育と図書館のあり方～」

11月14日(木)13:00～14:30 第8会場 入場無料(定員：100名) 講師：学校法人立命館 常務理事 西川幸穂様

法人内に1つの小学校、4つの中学高等学校、2つの大学を抱える学校法人立命館。立命館小学校では、1年生からロボティクス科の授業を行っています。「Microsoft Showcase School」の認定(日本の私立小学校で唯一)や、文部科学省のプログラミング教育実証校としての認定等、日々の学びのなかにICTが活かされ、その教育実績が各方面で認められています。

このような最先端のICT教育やAIの進化は、今後の大学教育に大きなインパクトを与えるでしょう。そしてその他にも、グローバル化やオープンイノベーションなども、今後の大学教育を考える上で、大きな要素になってくるはず。ICTの技術を使えば、学校や大学に行かなくても、「知識の習得」は得られます。学習が多様化する中で、学校や大学に行くからこそ得られる学び、学校や大学、そして大学図書館に求められる価値とは何なのでしょう。

このフォーラムでは、学校法人立命館の総合学園としての観点から、小学校、中学高等学校での教育現場の実情をふまえて、様々な社会変動を踏まえ、そして更に予測不可能ともいえる時代を前にして、今後、大学教育に求められる役割、大学図書館が果たすべき役割について迫ります。今後の大学教育、大学図書館運営がどうあるべきか、そのヒントとなるフォーラムです。

#### 第1回「私の図書館(本)」川柳コンテスト開催中!! (応募期間 2019年10月31日23時まで)

最終選考は「第21回 図書館総合展」のキャリアパワーブース内にて、来場者の投票で決定します。



図書館で 見る横顔に 恋をして

全国各地で多数の大学図書館の委託運営をしているキャリアパワー。図書館業界を盛り上げたい気持ちから、図書館(本)川柳コンテストを実施しております。

最終選考は、11月12～14日にパシフィコ横浜にて開催される「第21回 図書館総合展」のキャリアパワーブース内にて、来場者の投票で決定します。受賞作品の投票結果は、弊社HPにて発表いたします。

#### 【一次選考】

入賞13句をHPで発表

社内にて選考のうえ、上位13句を発表!!

入賞作品(13句)は、弊社HPにて11月上旬に発表いたします。

#### 【最終選考】

「第21回 図書館総合展」にて最優秀賞決定!

キャリアパワーブース内にて、上位13句を掲示します。最終審査員は図書館総合展の来場者の方々!!来場者の方々にお気に入りの作品に投票してもらい、順位を決定!!投票結果は、弊社HPで発表いたします。

## ■ Learning Information

図書館研修レポート

### 図書館で働くスタッフを対象に、ステップアップセミナーを開催しました



書館で働くスタッフを対象に、関西、関東、東海にてステップアップセミナーを開催しました。

今回は大学図書館支援機構(IAAL)から講師をお招きし、【「NACSIS-CAT2020の概要」:『目録情報の基準』第5版(案)および『コーディングマニュアル』(案)とテスト環境を検証し、実務への影響を考える】についてご説明をいただきました。実務に直結する内容だけに、参加したスタッフも真剣そのもの。自館の運用に当てはめるときどうなるのか、自分が担当している業務はどうか変わるのか、メモを取りながら聞き入っていました。2020年の運用にむけて、各館、今後細かな調整や対応が必要となることが想定されます。参加したスタッフからは、「難しく感じていたが、かみくだいた説明を聞くことができおまかな流れがつかめた」「漠然とした情報しかなく不安だったが、今までの検討の過程や具体的な内容を知ることができ非常に役立った」などたくさんの感想が寄せられました。各現場のスタッフからの問い合わせにスムーズに対応していけるよう、弊社トレーナーも勉強をすすめてまいります。

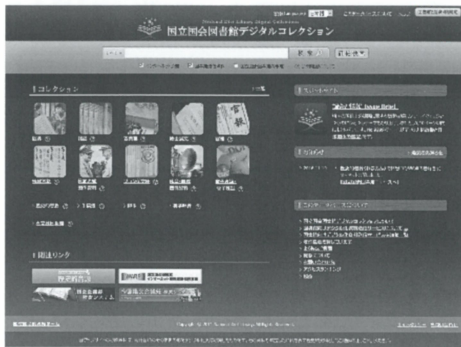
## ■ Support Center News

学術サポートセンター

## 学術サポートセンター通信 Vol.X

## 国立国会図書館デジタルコレクションについて

**イ**ンターネットの普及とともに漫画や小説がオンラインで読める電子書籍サービスが拡大しました。同時に図書館でも、古い図書や、郷土資料などのデジタル化が進んでおり、公共図書館や、専門図書館、大学図書館など、さまざまな図書館で資料をデジタル化したものをデータベース化した「デジタルアーカイブ」の提供が増えています。今回はそのなかから、国立国会図書館が提供する「国立国会図書館デジタルコレクション」をご紹介します。



【国立国会図書館デジタルコレクション TOP 画面】  
（国立国会図書館ウェブサイトより）

国立国会図書館には収集した資料を永く保存し、適切に後世に伝えていくという使命があります。しかし、紙は年が経つにつれて劣化してしまうもの。収集した資料を永く保存しつつ、利用者の求めに応じてしっかりと提供するために資料のデジタル化が進められ、「国立国会図書館デジタルコレクション」がつけられました。

## 【デジタル化されている資料とは?】

現在、図書 97 万点、雑誌 133 万点、古典籍資料 9 万点などをはじめ、博士論文、官報、歴史的音源、録音資料、映像資料、脚本など、350 万点を超える資料がデジタル化され、公開されています。

掲載資料の詳細を確認したい方は「国立国会図書館デジタルコレクション」HP をご覧ください(<http://dl.ndl.go.jp/>)。

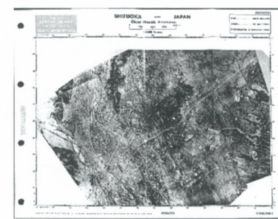
## 【デジタル化されている資料の一例】（国立国会図書館ウェブサイトより）



「十二月遊び・下画」



「和洋菓子の製法」画

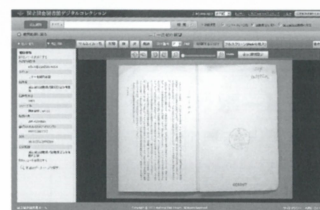
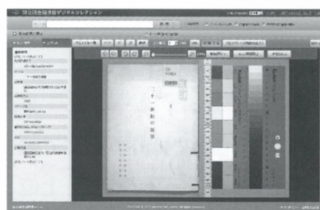


「Targets in Tokyo and Shizuoka areas」画像 7

## 【閲覧したい場合は?】

国立国会図書館デジタルコレクションは、国立国会図書館内の端末はもちろんのこと、公共図書館や、大学図書館、また、ご自宅のインターネットができるパソコンからでも閲覧が可能です。

## 【国立国会図書館デジタルコレクション画面の一例】（国立国会図書館ウェブサイトより）



ただし、資料には公開範囲が決められており、すべてのインターネット環境で見られる「インターネット公開」となっているもの以外に国立国会図書館内と国立国会図書館から許諾を受けた機関のみで閲覧できる「図書館送信資料」、国立国会図書館内のみでの閲覧となる「国立国会図書館内限定」資料があります。どの公開範囲の資料も目次は公開されていますので、まずは閲覧したい資料の公開範囲をご確認後、該当の図書館のカウンターで「国立国会図書館デジタルコレクション」を閲覧したいとお伝えください。

国立国会図書館から許諾を受けている図書館の一覧も国立国会図書館 HP の図書館向けデジタル化資料送信サービス参加ページに掲載されています。([https://www.ndl.go.jp/jp/use/digital\\_transmission/index.html](https://www.ndl.go.jp/jp/use/digital_transmission/index.html))

## 【資料の複写物を入手するには?】

実際に閲覧していると「閲覧した資料を手元に置いて何度も見たい」「自分の研究に使いたい」と思う資料が出てくることもあると思います。そういう場合には、その資料の複写物を入手することができます。

- ①インターネットから個人で申し込む(国立国会図書館登録利用者のみ)
- ②同じく郵送で申し込む
- ③所属の大学図書館か、近くの公共図書館から申し込む

許諾を受けている図書館ではデジタル化資料のうちインターネット公開されていない資料が閲覧・複写でき、国立国会図書館まで行かなくても利用できます。許諾を受けている参加館は年々増えていきますので、ぜひ一度利用してみたいはいかがでしょうか?

なお、資料の電子ファイルでの提供はどの図書館でも行っていませんので、ご注意ください。

## ■ Information

全国大会開催

### キャリアグループ全国大会を開催しました!!



**8**月24日にキャリアグループ全国大会を開催いたしました。キャリアパワーをはじめとするグループ各社の社員が、全国から本社のある京都に集結しました。代表による講和や各社トップによる業績報告と今後の展望や施策などが報告され、全員真剣に耳を傾けました。また、クライアント様にもご講演をいただくなど、密度の濃い1日となりました。第二部の懇親会では、各種出し物などが次々と披露され、一転して和やかなムードとなりました。今後、働き方改革にて私たちの業界も大きな変革を迎えます。キャリアグループでは「One Career」と銘打ち、各グループ会社が垣根を越えて連携をし、結束力を高めていく体制となります。そしてこの大きな変革期を乗り越えていき、顧客・市場から更なる評価を得られる企業に邁進してまいります。

【各グループ会社の業績優秀者】



【One Careerとして新たな船出を祝う】



## ■ Information

ペーロン大会

### 「2019びわこペーロン大会」に今年も参加しました!



**全**国大会の翌日8月25日には、大津市なぎさ公園サンシャインビーチで行われた「2019びわこペーロン大会」に、キャリアグループとして今年も参加いたしました。今年で連続出場なんと24回目!!

20人乗りのボートで入賞を目指しましたが、レースは惜しくも決勝進出とはなりませんでしたが。会場では、バーベキューやかき氷が振る舞われ、ミニゲームも開催。大勢の社員や家族が集まり、グループ一丸となって、結束を強められた一日となりました。

**びわこペーロン大会とは?** 今年で29回目を迎える「びわこペーロン」は、全国から非常に注目を集めるスポーツイベント。滋賀県内のチームだけでなく全国の有力チームも参加し、その実力を競い合っています。多くの観客を集める琵琶湖の夏の風物詩です。(びわこペーロン大会HPより)

### ● 法令遵守委員会

**キ**ャリアパワーは、労働者派遣法や労働基準法など各種労働法令を遵守し、常に適正な事業運営を果たすために、社内に法令遵守委員会を設置しています。定期的に派遣先を巡回、また社内監査を行ないながら、派遣契約内容を改めて見直し、法令の遵守が出来ているかの再チェックを行なっています。また、全社員に対して法令知識向上とコンプライアンス遵守の意識強化のために、定期的に研修会や勉強会を実施し、コンプライアンスの課題解決や事前防止の徹底を図っています。遵法精神を貫くことで、当社で働く派遣労働者、そして人材派遣を利用される全ての派遣先企業様に、よりいっそう満足して頂ける様、活動を行なってまいります。

派遣コンプライアンスに関する問い合わせ先

株式会社キャリアパワー 法令遵守委員会

TEL 075-341-2929 E-mail support@careerpower.co.jp

キャリアパワー各支社へは、フリーコール 0120-154-450 にお気軽にお問合わせください

東京：〒100-0004 東京都千代田区大手町1-7-2 東京サンケイビル 15F  
 大阪：〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-12-17 梅田スクエアビルディング 2F  
 名古屋：〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅3-25-9 堀内ビル8F  
 京都：〒600-8216 京都府京都市下京区堀小路通烏丸西入東堀小路町843-2 日本生命京都ヤサカビル 4F  
 滋賀：〒525-0025 滋賀県草津市西渡川1-1-3 リバティハウス4F  
 システムセンター：〒600-8269 京都府京都市下京区七条通堀川西入西八百屋町160

TEL.03-6895-2929(代) FAX.03-6895-2911  
 TEL.06-6346-2929(代) FAX.06-6345-1268  
 TEL.052-563-2929(代) FAX.052-563-3511  
 TEL.075-341-2929(代) FAX.075-341-3828  
 TEL.077-501-9292(代) FAX.077-501-9200  
 TEL.075-344-6776(代) FAX.075-344-6780

発行  
 株式会社 **キャリアパワー**  
 企画/制作  
 株式会社 **キャリアクリエイト**  
 2019.10.15発行